

町内の若者が大舞台で競い合い、躍動

国際大会や全国大会、九州大会に出場

馬場登久選手・男子サッカー

(有安区・甲佐小5年)

8月2日(木)～6日(月)タイで行われた第1回キアタニー国際サッカーナメントU12大会に、ウエストジャパンセレクトのメンバーとして出場しました。

大会を終えて馬場選手は「どんな相手でも抜けるように」と磨きたいです」と今後の抱負を話しました。



馬場選手は「どんな相手でも抜けるように」と磨きたいです」と今後の抱負を話しました。

田上廉太郎選手・男子サッカー

(横田区・甲佐中3年)

8月15日(水)～24日(金)北海道で行われた第33回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に、ソレツ熊本のメンバーとして出場しました。

田上選手は「相手チームの選手と比べて、自分の力はまだまだで



習をがんばりたいです」と話しました。

久米桃選手・女子サッカー

(麻生原区・甲佐中1年)

7月21日(土)～28日(土)大阪府で行われた第23回全日本U-15女子サッカー選手権大会に、益城ルネサンス熊本FCのメンバーとして出場しました。

「途中出場でしたが、自分ができることをがむしゃらにプレイしようと思



いきました」と今後の抱負を語りました。

田上大翔選手・競泳

(下横田区・ルーテル高3年)

8月17日(金)～20日(月)愛知県で行われた平成30年度全国高等学校総合体育大会の競泳種目に出場しました。

田上選手は4×100メートルフリーレーと4×200メートルフリーレーに出場。「全国の選手たちと競うことができ、いい経験になりました」と話しました。



田上選手は4×100メートルフリーレーと4×200メートルフリーレーに出場。「全国の選手たちと競うことができ、いい経験になりました」と話しました。

重永泰希選手(北早川区・甲佐中3年)
多々良晃希選手(吉田区・甲佐中2年)
・男子野球

7月25日(水)～30日(月)北海道で行われた北海道連盟創立45周年記念全国選抜野球大会に、熊本東リトルシニアのメンバーとして出場し、重永選手(写真右)が1番遊撃手として先発出場。

「練習を重ね、高校野球へつなげたいです」と抱負を話しました。



「練習を重ね、高校野球へつなげたいです」と抱負を話しました。

吉永紅良羅選手・女子野球

(八丁区・甲佐高3年)

8月4日(土)～9日(木)愛媛県で行われた第14回全日本女子硬式野球選手権大会に熊本ファンジークのメンバーとして出場しました。

吉永選手は9番遊撃手として先発出場。「ほかのチームの選手に比べて自分はまだまだなので、努力したいです」と大会の感想を話しました。



「ほかのチームの選手に比べて自分はまだまだなので、努力したいです」と大会の感想を話しました。

乙女タイガース・少年野球

8月17日(金)～20日(月)福岡県で行われた第26回九州選抜学童軟式野球大会に乙女タイガースのメンバーとして佐藤芳成選手(和田内区・乙女小6年)、川口大夢選手(緑町区・甲佐小6年)、井本旺佑選手(田原区・乙女小2年)、坂下勝聖選手(世持区・乙女小2年)、山田泰雅選手(和田内区・乙女小2年)、金守珠右選手(船津区・乙女小1年)が出場し、チームは3位に輝きました。

2番遊撃手として出場した川口選手は、準決勝で4打数2安打1盗塁の活躍を見せ、チームをけん引。大会後、「九州大会は、県大会とは相手チームの雰囲気違います。課題を練習で改善していきたいです」と話しました。



「九州大会は、県大会とは相手チームの雰囲気違います。課題を練習で改善していきたいです」と話しました。

台湾の中高生と国際交流を深める

国際化社会に対応できる人材を育成

8月7日（火）～10日（金）台湾台南市の中
高生が国際交流で本町を訪れました。

自然や文化など、生活習慣の違う環境の中での
交流事業を通して国際化社会に対応できる人

材を育成していくことを目的として、甲佐町国
際交流協会が平成27年度から台南市の土城高級
中学校との相互交流を実施しており、今年度は
台湾から来町。本町の中高生などと交流しました。



上：正法寺での茶道体験

下：歓迎式での空手の演技



台南市の中学生・高校生6人と引率
の教師など総勢18人が、町生涯学習
センターで行われた歓迎式に出席し、
本町の中高生と対面。オープニングで
空手・勇誠塾の演技が行われた後、甲
佐町国際交流協会会長の蔵田勇治教育
長が歓迎のあいさつを述べ、本町の交
流生徒を代表して牛島由貴さん（緑町
区・甲佐中3年）が「日本の伝統を学
び、台湾に広めてください」とあいさ
つ。記念品の贈呈やお互いの自己紹介
などが行われました。

参加者は、有安の正法寺で茶道を体
験し、やな場や甲佐神社を見学。また、
阿蘇市波野でのそば打ち体験などで友
情を育むとともに、ホームステイで生
徒や家族との交流を深めました。

ますます外国に 興味がわきました

伊豆野 智也さん
（横田区・九州学院高2年）

海外の人と交流できる機会はな
かなかないと思ったので、参加し
ました。

日本語が伝わらないので、コ
ミュニケーションをとることが難
しかったです。楽しい思い出を作
ることができ、この4日間の出来
事は、一生忘れることのない大切
な経験になりました。そして、ま
すます外国に興味がわきました。



▲伊豆野さん（中央左）と荒瀬さん（同
右）。ホームステイでは流しそうめんや
花火などを一緒に楽しみました。

●お問い合わせ先

町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447

積極的にコミュニケー ションをとりたい

荒瀬 洲水さん
（東寒野区・御船高2年）

去年台湾へ行ったので、今年は
迎える側として参加したいと思い、
応募しました。

短い間でしたが、学ぶことはお
互いに多かったと思います。いか
にコミュニケーションがとれるか
で大きく変わるので、どんな人
でも積極的にコミュニケーションを
とって、仲良く楽しくしていきた
いと思いました。